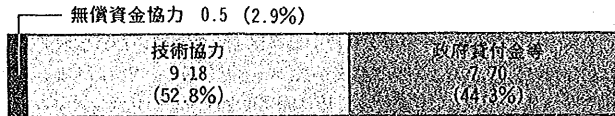


		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	0.5	19.70
	技術協力 (億円)	9.18	82.49
	政府貸付金等 (億円)	7.70	444.09
	技術協力経費 (億円)	9.25	82.49
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	55(新規)+4(継続)	535
	専門家派遣 (人)	26(新規)+13(継続)	157
	調査団派遣 (人)	53(新規)+0(継続)	466
	協力隊派遣 (人)	15(新規)+25(継続)	217
	単独機材供与 (100万円)	55.68	465
	開発調査 (件)	1	11
	プロジェクト方式技術協力 (件)	2	1



わが国の対コスタ・リカODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
地震観測用機材	一式	47,998	教育庁 コスタ・リカ大学中米地質 学科	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

● 農業・水産分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
農産加工残滓物利用研究 用機材	一式	7,677	文部省 ナショナル大学	小規模単独機 材	研修員受入

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ロスジャーノス発電開発計画	ナラホン川中流部にダムを設けて取水し、導水トンネルで西に隣接するパキータ川の発電所に導き、99MWの発電を行うためのフィージビリティ調査を実施する。本件は流域変更を伴うため、周辺環境に与える影響が大きく、環境影響評価に力点を置くこととしている。1994年度は、予備調査段階ならびに詳細調査段階の地形測量、地質調査が終了し、着手報告書、進捗報告書を提出した。	コスタ・リカ電力公社	国際航業(株) 電源開発(株) 日本エヌ・ユーエス(株) (株)EPDCインターナショナル

● 人的資源分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)
中米域内産業技術育成計画 (当初R/D協力期間) 92.9.1~97.8.31	89	コンタクト	93年度までの 累 計	18	11	99,238
	90	長期調査				
	90	事前調査	94年度	新規 14	6	55,579
	92	実施協議				
	92	計画打合せ				
94	巡回指導	継続	9	1		

コスタ・リカ◎中南米

〈要請背景〉

累積債務、財政赤字に悩む中米各国は、それぞれの国家開発計画のなかで、経済を健全化し国家再建を図るために、生産部門の活性化に資する人材の育成を最優先課題として取り組んでいる。

本プロジェクトは上述の構想の一環として1989年7月に企業経営管理技術、情報処理技術にかかわる技術移転を目的とし、プロジェクト方式技術協力の要請がコスタ・リカからわが国になされたものである。

〈目標と期待される成果〉

目標としてコスタ・リカを含む中米諸国の産業発展に役立つ人材の育成を図ることによって、インストラクターとなるべきカウンターパートが品質管理、生産管理および情報処理の分野で、企業に対し研修コースを実施することにより人材の育成に寄与する。

〈協力活動内容〉

- (1)養成計画を作成
- (2)カウンターパートに対する講義指導および教材作成に関する指導
- (3)研修コース作成のための指導

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
胃ガン早期診断プロジェ クト (当初R/D協力期間) 95.3.1~2000.2.29	94	事前調査 長期調査 実施協議	93年度までの 累 計		0	0	0
	94		94年度	新規	2	2	0
	94			継続	0	0	
	<p><要請背景></p> <p>コスタ・リカは、プライマリー・ヘルスケア分野はラテンアメリカ諸国、カリブ諸国と比較するとかなり高い水準にあるが、近年はガンが死因の55%(1988年)と上位を占めている。うち胃ガンは18%を占めているが、早期胃ガンの発見率はわずか3%であり、全胃ガン患者の治療率(5年生存率)は先方の説明によれば3%程度と極端に低い状況にある。このため、同国における保健医療サービスを実施し、全国に病院・診療所を有するコスタ・リカ社会保障公庫(CCSS)とコスタ・リカ大学は、胃ガン早期診断体制の確立を重点課題としており、診断方法の研究・開発、同システムの調整、活動のシステム化、胃ガン関連データ収集・分析を行うべくわが国に協力を要請した。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>モデル地区(カルタゴ、Dr. Max Peralta)での胃ガン検診システムの確立</p> <p><協力活動内容></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 胃ガンの早期診断 (2) モデル地区における胃ガンの診断情報システム、データベースの確立 (3) 胃ガンの疫学的調査・研究 (4) 胃ガン検診に関する人材の育成 (5) 本システムに関する病院管理、医療サービスの向上 (6) 集団検診システムの費用対効果の研究 						

キューバ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	0	0
	技術協力 (億円)	0.67	3.28
	政府貸付金等 (億円)	0	0
	技術協力経費 (億円)	0.47	3.28
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	10(新規)+4(継続)	142
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	3
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

技術協力
0.67
(100%)

わが国の対キューバODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ドミニカ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	2.74	6.38
	技術協力 (億円)	0.61	2.10
	政府貸付金等 (億円)	0	0
	技術協力経費 (億円)	0.16	2.10
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	2(新規)+0(継続)	10
	専門家派遣 (人)	1(新規)+1(継続)	1
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	13
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	44
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力 2.74 (81.7%) 技術協力 0.61 (18.3%)

わが国の対ドミニカODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

キューバ/ドミニカ◎中南米

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
沿岸漁業開発計画	農業土地漁業 林業省漁業局	オーバースー ズ・アグロフ イッシュアリー ズ・コンサル タンツ㈱	94	5.59	94.8.10		
<p>経済開発の柱となる漁業の振興のため、近代的な漁具・漁法の導入および水揚施設、市場など流通施設の整備を行う。</p>							

トミニカ共和国

		1994年度	1993年度までの累計
O D A 実 績	無償資金協力	(億円) 6.10	71.43
	技術協力	(億円) 11.40	87.52
	政府貸付金等	(億円) -6.79	375.67
J I C A 技 術 協 力 実 績	技術協力経費	(億円) 12.12	87.52
	研修員受入	(人) 44(新規)+6(継続)	461
	専門家派遣	(人) 25(新規)+20(継続)	140
	調査団派遣	(人) 41(新規)+0(継続)	416
	協力隊派遣	(人) 27(新規)+41(継続)	172
	単独機材供与	(100万円) 0	373
	開発調査	(件) 1	9
プロジェクト方式技術協力		(件) 2	1

無償資金協力	6.10
技術協力	11.40
政府貸付金等	-6.79

わが国の対トミニカ共和国ODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
西部三県給水計画	上下水道庁	国際航業(株)	94	3.91	95.2.1	94.6(本) 94.9(報)	
ドミニカ共和国西部、ハイチ国境沿いの地域は、開発が遅れ、生活基盤が脆弱なため、まず飲料水不足の克服に緊急の対応が必要な3県の給水施設を建設する。							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
コショウ開発計画(II) (当初R/D協力期間) 92.7.7~97.7.6	92	事前調査	93年度までの 累 計	6	4	69,235
	92	実施協議(事務 所長R/D署名)				
	93	計画打合せ	94年度	新規	6	3
	93	巡回指導		継続	3	
<p><要請背景> フェーズIにおいては幼年樹(樹齢4年未満)のコショウの栽培技術開発に対する協力が1987年7月から5年間行われた。ドミニカ共和国政府はこのフェーズIの成果を踏まえ、次の段階として農民に対してコショウ栽培を振興するために、生産樹段階の技術開発を行うとともに、農業技術者および普及員などの訓練を行うことが不可欠であるとして、91年9月にわが国に対し、フェーズIIの協力要請をした。</p> <p><目標と期待される成果> コショウ栽培技術をさらに開発し、農業技術者および普及員を訓練することによってドミニカ共和国の農業開発に寄与する。</p> <p><協力活動内容> (1) 適正な栽培技術の開発および営農計画の作成 ①栽培技術の開発 ②土壌栄養技術の開発 ③作物保護技術の開発 ④健苗生産システムの設定および開発 ⑤営農計画の作成 (2) 実証および訓練 ①展示農場における実証と展示 ②農業技術者および普及員の訓練</p>						

ドミニカ共和国 ● 中南米

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
リモン・デル・ジュナ地域農業開発計画	灌漑排水施設の改善と新たな水田開発を行い、米の自給率の向上、生産性の向上による農家所得および雇用機会の増大を図るため、ドミニカ共和国北東部に位置するジュナ川下流右岸の平野部(約1万ha)を対象とする農業開発計画策定に関するフィージビリティ調査を実施する。1994年度は、93年度に引き続き本格調査を実施し、進捗報告書(II)まで作成した。	水利庁	国際航業(株) パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
沿岸漁業開発計画	農務省天然資源局		91	3.88			94.6 (F/U)
<p>(1) 本体：沿岸水産資源の資源量を把握し、この結果をもとに適正漁具漁法の開発と漁民への技術指導ならびに普及による沿岸漁業振興にかかわる資機材協力を行う。</p> <p>(2) フォローアップ協力：必要なスペアパーツなどの確保のための調査団派遣。</p>							
食糧増産援助	農務省	(株)日本国際協力システム	94	3.00	94.9.30	(資)	94.9(実)
<p>ドミニカ共和国において、農政上、増産が期待される赤インゲン豆主要生産地域における増産に必要な肥料、農薬、農機を供与する。</p>							
コンスタンサ畑地灌漑計画	水利庁	(株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル	94	9.78	94.8.3		
<p>ドミニカ共和国のコンスタンサ地域は、基礎野菜生産地であるが、用水路等灌漑施設の老朽化、整備不足のために農業用水が不足していることから、灌漑施設の修復・建設を行う。</p>							

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
消化器疾患研究・臨床 (当初R/O協力期間) 90.1.1~94.12.31	88	事前調査	93年度までの 累 計	56	15	172,109
	89	実施協議				
	91	計画打合せ	94年度	新規	12	4
	92	巡回指導				
	93	機材管理指導				
	94	エバリュエーション				
	94	機材管理指導				

<要請背景>

国立ルイス・アイバル病院は首都にある国立病院としては最高のレベルにあり、国立サントドミンゴ大学医学部などの教育病院を兼ね、加えてカリブ諸国の研修員も受け入れている。同病院では近年、消化器疾患分野の患者数の増加傾向がうかがえるが、同分野における優秀なスタッフおよび診療機器の不足などにより、十分な診療が困難となっている現状である。

このような背景をもとに、1987年7月ドミニカ共和国は保健医療サービス拡充計画の一環として国立アイバル病院を拠点に、消化器疾患診療技術の向上を目的としてわが国に対してプロジェクト方式技術協力を要請した。

<目標と期待される成果>

国立ルイス・アイバル病院において、消化器疾患の疫学的研究および臨床活動を強化し、ドミニカ共和国の消化器疾患の減少に寄与する。

<協力活動内容>

- (1) 消化器疾患臨床活動を強化する。
 - ①内視鏡技術を向上させる。
 - ②超音波診断技術を向上させる。
 - ③放射線検査技術を向上させる。
 - ④小児科のレベルを向上させる。
- (2) 臨床検査機能を強化する。
 - ①血液学、生化学検査技術を向上させる。
 - ②微生物学、寄生虫学的検査技術を向上させる。
 - ③血清学検査技術を向上させる。
 - ④病理学検査技術を向上させる。
- (3) 疫学的研究活動を強化する。
- (4) 病院管理を改善する。
- (5) 看護のレベルを向上させる。

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	10.56	59.09
	技術協力 (億円)	12.91	78.18
	政府貸付金等 (億円)	10.22	571.25
	技術協力経費 (億円)	12.40	78.18
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	55(新規) + 6(継続)	585
	専門家派遣 (人)	12(新規) + 5(継続)	145
	調査団派遣 (人)	82(新規) + 0(継続)	671
	協力隊派遣 (人)	18(新規) + 28(継続)	34
	単独機材供与 (100万円)	0	162
	開発調査 (件)	5	13
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	2

無償資金協力 10.56 (31.3%)	技術協力 12.91 (38.3%)	政府貸付金等 10.22 (30.3%)
----------------------------	--------------------------	----------------------------

わが国の対エクアドルODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
グアヤキル港マスタープラン策定計画	エクアドル最大の港湾であるグアヤキル港を対象として、2010年を目標とする長期整備計画(マスタープラン)、短期整備計画(同港西側の拡張計画を含むフィージビリティ調査)の策定を行う。1994年度は、本格調査を開始し、同港のマスタープランを策定し、中間報告書を提出した。	グアヤキル港湾公社	日本工営(株) ㈱OCDI
チヨネ・ポルトヴィエホ川流域導水計画(実施設計)	石油依存の経済構造からの脱却と地域格差の是正のため、エクアドル・マナビ州チヨネ・ポルトヴィエホ川流域を対象として実施された水資源開発計画フィージビリティ調査の結果に基づき、同流域における導水計画の詳細設計を行う。1994年度は、93年度に引き続き、現地調査結果および基本設計に基づき詳細設計を行うとともに施工計画を策定し、それらを踏まえて工事費を積算のうえ、資金調達に必要なすべての項目を含む事業実施計画を作成した。また、資格審査書類、入札図書、工事費積算書、数量計算書を含む入札書類とともに、対象施設の維持管理計画および環境管理・モニタリング計画案を作成し、それらを最終報告書案として取りまとめ、エクアドル政府に説明のうえ、コメントを踏まえて最終報告書を作成し、提出した。	マナビ州復興センター	日本工営(株)

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
キト市南部上水施設整備 計画	厚生省 キト市上下水 道公社	北海道開発コ ンサルタント(株) (株)パシフィッ ク・コンサルタ ンツ・インター ナショナル				94.9(事) 95.2(木)	
エルシント川からの取水・送水施設の新設およびアグナグア導水管路改修のための資材供与。							

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
国立養殖・海洋研究セン ター (当初F/D協力期間) 90.8.1~95.7.31	88	長期調査	93年度までの 累 計	14	11	129,760
	89	事前調査				
	89	長期調査	94年度	新規	3	3
	89	実施協議				
	90	計画打合せ				
	91	巡回指導				
92	巡回指導	継続	3	2	3,457	

〈要請背景〉
 エクアドルの輸出産業として重要なエビ養殖業の安定的発展および魚介類を含めた多角的な養殖業への転換を図るため、無償資金協力で建設された国立養殖・海洋研究センターを拠点とした協力をわが国に対して要請してきたものである。

〈目標と期待される成果〉
 国立養殖・海洋研究センターの水産養殖に関する職員の基礎・応用研究能力の向上を図り、同センターの機能強化に資する。協力分野は、水族病理学、水族栄養学、貝類養殖、魚類養殖の4分野である。

〈協力活動内容〉

- 水産病理学(診断、予防、治療)に関する基礎研究および応用研究を行う。
- 水族栄養学(基礎食品化学分析法、栄養要求、消化吸収、飼料開発研究)に関する基礎研究および応用研究を行う。
- 有用貝類(マガキとカシユイタヤガイ)の種苗生産と育成管理に関し、以下についての基礎研究および応用研究を行う。
 - 育成管理：養殖試験、養殖現場の水質モニタリング、二枚貝の人工ふ化試験
 - 種苗生産：在外系統地(マガキ)の導入、母貝の管理、産卵誘発試験、幼生飼育試験
- 有用魚類(ヒラメ、スズキ)の種苗生産と育成管理に関し、以下についての基礎研究および応用研究を行う。
 - 採卵試験：親魚採集、親魚飼育、採卵、仔魚飼育
 - 種苗生産：初期飼料生産、稚魚飼育
 - 育成管理：天然採集魚の育成、水質測定、魚体測定

エクアドル◎中南米

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ツムバビロ灌漑計画	国内消費農産物の多くを輸入に頼っているエクアドルでの主農産物生産地帯であり、小農が多い山岳高原地帯インバブラ州の州都イバラ市の北西に位置するツムバビロ地区1万3000haを対象として、国内消費農産物の供給確保、輸出農産物の生産振興、ひいては農民生活の安定向上を図ることを目的とする灌漑農業開発計画の策定に関するフィージビリティ調査を実施するものである。1994年は、最終報告書をエクアドル政府に提出した。	農牧省水資源庁	(株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助	農牧省	(株)日本国際協力システム	94	3.00	95.4.10	(資)	95.3(実)
<p>エクアドルの推進する、食糧自給の達成・品質改善などのための食糧増産計画を支援するため必要な農業機械を供与する。</p>							
ババジャクタ国立アンデス養殖研究センター建設計画	商工統合漁業省	システム科学コンサルタンツ(株)	94	4.59	94.8.2		
<p>エクアドルではニジマス養殖を推進しているが、養殖技術の普及指導体制が十分に整備されていないうえに、種苗の供給施設も不十分なため、技術普及および種苗の供給の拠点を整備する。</p>							

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
フニン・コジャツヘ地域地域開発計画	地質状況および鉱床賦存状況の解明によって新鉱床を発見するとともに鉱床開発に関する評価を行う。1994年度は、ボーリング調査、地質調査、物理探査を実施した。フニン地区で実施したボーリング調査において、銅に富む鉱化部を捕捉した。コジャツヘ地区における物理探査では、顕著な異常帯を抽出することができず、また、ボーリング調査において細脈状の鉱化を捕捉したが、低品位であった。	地質鉱山冶金開発探査公社	金属鉱業事業団

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
全国電力系統信頼度向上対策計画	電力システムの安定度、供給信頼度向上のため、系統解析、電力需給バランスなどを調査し、今後開発すべき最適送変電系統計画を策定する。1993年度までに実質的な調査を終え、94年度は最終報告書を印刷・製本し、これをエクアドルに送付して調査を完了した。	エクアドル電力庁	電源開発(株)

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
主要病院医療機材整備計画	厚生省	(株)インターナショナルコンサルタンツ	94	9.41	94.8.2		
主要都市の医療施設および機器材が老朽化し、使用できないものが多いため、外科用機材、産婦人科用機材などの基礎的な医療機材を整備する。							

エル・サルヴァドル ● 中南米

エル・サルヴァドル

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	19.73	103.81
	技術協力 (億円)	2.37	16.59
	政府貸付金等 (億円)	-0.65	173.52
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	2.64	16.59
	研修員受入 (人)	20(新規)+1(継続)	267
	専門家派遣 (人)	5(新規)+1(継続)	46
	調査団派遣 (人)	42(新規)+0(継続)	86
	協力隊派遣 (人)	11(新規)+0(継続)	79
	単独機材供与 (100万円)	0	14
	開発調査 (件)	1	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力	19.73
技術協力	2.37
政府貸付金等	-0.65

わが国の対エル・サルヴァドルODA(1984年暦年支出総額ベース、暫定値、単位：億円 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA 担当)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
東部主要国道橋梁架け替え計画	公共事業省道 路総局	日本工営(株) (株)オリエンタル・コンサル タンツ	94	5.32	94.8.16		95.1(実)
エル・サルヴァドルでは内戦中、幹線道路網のうち、主要な橋梁が反政府軍の攻撃の対象となり、各地で重要な橋梁が爆破されたため、緊急に架け替えが必要な同国東部の2橋の架け替えを行う。							
東部主要国道橋梁架け替え計画(詳細設計)	公共事業省道 路総局	日本工営(株) (株)オリエンタル・コンサル タンツ	94	0.18	95.1.18		
エル・サルヴァドルでは内戦中、幹線道路網のうち、主要な橋梁が反政府軍の攻撃の対象となり、各地で重要な橋梁が爆破されたため、緊急に架け替えが必要な同国東部の2橋の架け替えを行う。							
首都圏清掃機材整備計画	サンサルヴァ ドル首都圏市 長会議	国際航業(株)	94	7.53	95.3.20	94.9(事)	
首都圏15市役所にゴミ収集機材および埋立場機材を供与する。							

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
ヒボア川流域農業総合開発計画	エル・サルヴァドル政府の要請に基づき、首都サンサルヴァドルに隣接するヒボア川流域約6万haを対象とした農業総合開発計画の策定に関するマスタープラン調査を実施するもので、1994年度は本件の具体的な調査内容を確認するために、事前調査団(予備)を派遣した。	農牧省	北海道開発コ ンサルタント (株)

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
サボティタン地区農村総合整備計画	農牧省天然資源総局	(株)内外エンジニアリング				94.9(事) 95.1(本)	
同地区の水源施設、灌漑水路、農道橋梁施設の建設および機材の整備。							
食糧増産援助	企画省	(株)日本国際協力システム	94	5.00	94.9.19	(資)	94.9(実)
エル・サルヴァドルの推進する基礎穀物の増産・食糧自給計画の支援に必要な肥料を供与する。							
漁業振興計画	農牧省水産局	D&A エンジニアリング(株)	94	3.27	95.3.20	94.11(本)	
漁獲量の増大のため、漁船、漁具、船外機などを供与する。							

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
第1次初等・中等学校建設計画	教育省	システム科学コンサルタント(株)				94.8(本) 94.11(報)	
エル・サルヴァドル東部地域において、38校の小学校と、2校の中学校の建設および机、椅子の供与を行う。 エル・サルヴァドル中央、西部地域において、内戦により施設の被害の著しい27校の小学校と2校の中学校の施設の建設および机、椅子、黒板などの基礎備品の供与を行う。							

エル・サルヴァドル◎中南米

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	0	6.77
	技術協力 (億円)	0.77	3.51
	政府貸付金等 (億円)	0	0
JICA技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.30	3.51
	研修員受入 (人)	4(新規)+0(継続)	30
	専門家派遣 (人)	0(新規)+2(継続)	3
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	18
	協力隊派遣 (人)	(新規)+ (継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	27
	開発調査 (件)	0	0
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

技術協力
0.77
(100%)

わが国の対グレナダODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
セント・ジョージズ漁業 施設建設計画	農業・貿易・ 産業・エネル ギー・生産省	オーバースー ズ・アグロフ イッシュャリー ズ・コンサル タンツ(株)	94	2.99	94.7.28		
<p>首都セント・ジョージズの既存漁業関連施設は、老朽化に伴う機能の低下、冷蔵容量や製氷能力の不足などの問題を抱えているため、既存の施設より拡充された施設を首都近郊に建設する。</p>							

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	8.38	56.75
	技術協力 (億円)	8.82	83.19
	政府貸付金等 (億円)	26.08	105.86
	技術協力経費 (億円)	10.63	83.19
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	35(新規) + 4(継続)	446
	専門家派遣 (人)	21(新規) + 8(継続)	219
	調査団派遣 (人)	55(新規) + 4(継続)	604
	協力隊派遣 (人)	21(新規) + 42(継続)	82
	単独機材供与 (100万円)	7.42	222
	開発調査 (件)	4	15
	プロジェクト方式技術協力 (件)	1	1

無償資金協力 8.38 (19.4%)	技術協力 8.82 (20.4%)	政府貸付金等 26.08 (60.3%)
---------------------------	-------------------------	----------------------------

わが国の対グアテマラODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
首都圏交通網整備計画	グアテマラ政府の要請に基づき、同国首都圏の道路網の改善と公共交通システムの強化を図ることを目的とした交通網整備計画に関するフィージビリティ調査を実施する。1994年度は、事前調査団を派遣し、実施細則を締結した。	グアテマラ市役所	
グアテマラ首都圏下水道整備計画	グアテマラ政府の要請に基づき、グアテマラ市および周辺7市の一部を含む首都圏を対象とした公衆衛生の改善や環境保全のための2015年を目標年次とする下水/衛生セクターのマスタープランを策定し、同計画のなかで選定された優先プロジェクトについてフィージビリティ調査を実施する。1994年度は、グアテマラに説明・協議するとともに、既存資料や過去の米州開発銀行のファイナンスによる調査の結果に基づき代替案や実施上の制約要因を概略検討したうえ、水質調査、施設の機能調査、経営に関する調査などを行い現状の下水・衛生事業の評価を行った。また、将来予測を行い基本方針を設定したうえで、下水道整備計画に関するマスタープランを策定するとともに、同計画のなかで選定された優先プロジェクトを選定し、それらを着手報告書として取りまとめた。	グアテマラ市水道公社	(株)日水コン (株)パンフィック・コンサル タンツ・インターナショナル

中部高原地下水開発計画	不衛生な生活環境におかれている山岳部住民の生活水準の向上と貧困撲滅を図るため、中部高原地帯6県96市町村を対象として、地下水開発基本戦略を策定し、優先市町村についてフィージビリティ調査を実施する。1994年度は、第1次現地調査結果に基づき、2010年を目標年次とし、96市町村を対象とした水資源開発基本戦略を策定する。さらに、5つの優先市町村を選定し、第1次現地調査において選定済みの5つの優先市町村とあわせた10優先市町村に対して、フィージビリティ調査を実施した。	地方都市振興庁	国際航業(株)
-------------	---	---------	---------

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
グアテマラ市浄水場修復計画	グアテマラ市水道公社	(株)協和コンサルタンツ	94	10.45	94.9.2		
首都グアテマラ市は、水不足と施設の老朽化により、不衛生な水が供給されており、水質改善が望まれているため、浄水施設の修復を図る。							
帰還民支援計画	国立平和基金		94	3.44	95.3.28		
1980年代に流出していた難民や国内避難民が元の居住地に帰還しつつあることから、帰還民の定着を進めるための住居支援となる亜鉛鉄板などを購入する。							

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査 回受入先	調査業務 受注企業名
バハ・ヴェラバス県森林管理計画	グアテマラのバハ・ヴェラバス県全域の約28万haを調査対象とし、航空写真を用い、土地利用植生図などを作成するとともに、森林の賦存量調査および民有林の適正な保全と利用を図るための森林管理基本計画の策定を行う。また、調査対象地域内にモデル地区を設定し、適用可能な民有林施業の指導・普及のためのモデル森林施業計画を策定する。1994年度は、本格調査を開始して着手報告書をグアテマラ政府に提出した。	農牧・食糧省	(株)日本林業技術協会 (株)パスコ・インターナショナル

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農牧・食糧省	(株)日本国際協 力システム	94	3.00	94.11.4	(資)	94.10(実)
グアテマラの基礎穀物増産計画の実施に必要な、肥料を供与する。							
東部灌漑用地下水開発計 画	農牧・食糧省	国際航業(株)	94	2.58	94.11.4		
グアテマラの農業は、コーヒー、サトウキビなど伝統的な産品に偏っており、その国際価格の変動により同国経済が深刻な影響を受けているため、同国東部地域(5県)を中心に非伝統的産品への作物の多様化が行われている。しかし、降水量が少なく灌漑が遅れており、灌漑農業の促進が必要のため、井戸掘削に必要な資金を提供する。							

● エネルギー分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
電力測定用機材	一式	7,423	エネルギー-鉱山省電力庁	小規模単独機 材	専門家派遣

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
熱帯病研究 (当初R/D協力期間) 91.10.1~96.9.30	90	事前調査	93年度までの 累 計	34	9	123,485
	91	実施協議				
	93	計画打合せ	94年度	16	2	48,550
	94	巡回指導		継続	6	

<要請背景>

グアテマラでは、その地理的、気候的、動植物生態学などの風土条件により、マラリアをはじめとし、シャガス病、オンコセルカ症などの伝播昆虫媒介性疾病が社会・経済発展を阻害するものとして、同国の保健医療政策上で緊急に対処すべき課題に位置づけられている。しかし、これら熱帯病に対する同国の対策は、その研究基盤整備(施設、機材、人材)の立ち遅れにより、効果的な対策がとられていないのが現状である。わが国は同国に対し、これまでに、オンコセルカ症研究プロジェクト(1975~83)、マラリア対策ミニプロジェクト(87~90)を通じ、熱帯病対策分野での技術協力を進めてきており、これらわが国の協力に対しては、グアテマラ官民の高い評価を得てきている。

これまでのわが国の継続した協力をもとに、同国政府は上記熱帯病の基盤的、包括的技術の獲得お

よびその成果をもって同国民の保健衛生分野の改善を図ることを目的とし、わが国に対し熱帯病研究に関するプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

〈目標と期待される成果〉

伝播昆虫媒介性疾患を中心とした熱帯病に関し、包括的研究技術の向上を図る。

〈協力活動内容〉

下記の4分野において専門家(①免疫診断学、②疫学、③寄生虫学)を派遣中である。

- (1) 病原体の同定と診断
- (2) 治療法研究および臨床的研究
- (3) 伝播昆虫の生態学
- (4) 疫学と人間生態学

ガイアナ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA 実績	無償資金協力 (億円)	2.20	55.14
	技術協力 (億円)	0.33	3.83
	政府貸付金等 (億円)	0	0
JICA 技術 協力 実績	技術協力経費 (億円)	0.35	3.83
	研修員受入 (人)	6(新規)+1(継続)	60
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	7
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	45
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	1
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

無償資金協力 2.20 (87.0%)	技術協力 0.33 (13.0%)
---------------------------	-------------------------

わが国の対ガイアナODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ハイティ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力	(億円) 0.34	131.42
	技術協力	(億円) 0.07	3.28
	政府貸付金等	(億円) 0	0
	技術協力経費	(億円) 0.13	3.28
JICA技術協力実績	研修員受入	(人) 0(新規)+0(継続)	53
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	2
	調査団派遣	(人) 6(新規)+0(継続)	64
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	単独機材供与	(100万円) 0	6
	開発調査	(件) 0	0
	プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0

無償資金協力 0.34 (82.5%)	技術協力 0.07 (17.5%)
---------------------------	-------------------------

わが国の対ハイティODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ホンデュラス

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力	(億円) 16.88	241.82
	技術協力	(億円) 18.77	151.64
	政府貸付金等	(億円) 10.71	409.24
	技術協力経費	(億円) 14.93	151.64
JICA技術協力実績	研修員受入	(人) 50(新規)+3(継続)	491
	専門家派遣	(人) 41(新規)+22(継続)	190
	調査団派遣	(人) 64(新規)+4(継続)	731
	協力隊派遣	(人) 37(新規)+74(継続)	528
	単独機材供与	(100万円) 1.28	707
	開発調査	(件) 4	11
	プロジェクト方式技術協力	(件) 3	1

無償資金協力 16.88 (36.4%)	技術協力 18.77 (40.5%)	政府貸付金等 10.71 (23.1%)
----------------------------	--------------------------	----------------------------

わが国の対ホンデュラスODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

ガイアナ/ハイティ/ホンデュラス◎中南米

● 公共・公益事業分野 ●

.....
機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
河川砂防試験用機材	一式	1,281	通信・公共事業・運輸省公共事業局	小規模単独機材	専門家派遣 研修員受入

.....
開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
テグシガルバ市都市交通網整備計画	ホンデュラス政府の要請に基づき、同国首都テグシガルバ市の深刻な交通混雑の緩和を目的とした都市交通システム整備計画のマスタープラン(目標年次2010年)を策定するものである。1994年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結した。	デグシガルバ市都市計画局	

.....
無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
第2保健区農村地帯給水計画	厚生省公衆衛生総局	日本工営㈱	94	2.05	94.7.26		
<p>ホンデュラス中部の第2保健区(コマヤグア、ラパス、インティブカ県)の農村部では、衛生状況が悪く、幼児死亡率が高い状況となっているため、合計200本の井戸掘削を計画する。</p>							
サンペドロスーラ市浄水場整備計画	サンペドロスーラ市水道局	㈱協和コンサルタンツ	94	12.36	94.7.26		
<p>ホンデュラス第2の都市であるサンペドロスーラ市は、人口が40万人を超えているが、飲料水が不衛生な状況にあることから、2つの浄水施設を改善する。</p>							
テグシガルバ市周辺地域給水計画	上下水道公社	㈱協和コンサルタンツ	94	3.63	95.2.13	94.6(本) 94.9(報)	
<p>首都テグシガルバ市では、市内中心部の40万人には都市給水が行われているが、周辺部の30万人に対しては十分な給水設備がないため、井戸を掘削し、給水車、トラックなどを購入する。</p>							

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)	
養豚開発計画 (当初F/O協力期間) 93.5.15~98.5.14	91	事前調査 長期調査	93年度までの 累 計		6	3	34,656
			94年度	新規	2	3	68,989
	継続	4		1			
	92	実施協議 計画打合せ					
<p><要請背景></p> <p>ホンデュラスでは、近年加工品を中心に豚肉需要が増大してきた。しかしながら、同国の養豚業は旧来の技術力の劣る飼養体系のもとで産肉能力の低い地豚(クリオーリョ)を飼養する小規模農家が大部分を占め、その生産量は国内需要を満たすには至っていない。このようななかで、ホンデュラス政府は改良豚の導入、飼養管理技術の向上などを目的とした「在来豚の改良および肉加工」に関するプロジェクト方式技術協力をわが国に要請してきた。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>種豚の導入、技術の開発および研修を通じて種豚生産を進展させ、ホンデュラスにおける養豚生産の発展に寄与する。</p> <p><協力活動内容></p> <p>(1) 高能力種豚の導入、試験的生産・供給 (2) 養豚技術の開発・改良(飼養管理、繁殖、育種、衛生など) (3) 養豚兼業農家に対する適切な飼養管理技術の実証モデル展示と関連技術指導 (4) 上記、(1)~(3)に関連した技術者の研修</p>							
灌漑排水技術開発計画 (当初F/O協力期間) 94.10.1~99.9.30	93	事前調査 長期調査	93年度までの 累 計		2	0	0
			94年度	新規	5	2	20,138
	継続	2		0			
	94	実施協議					
<p><要請背景></p> <p>ホンデュラスは国家開発計画(1990~94)のなかで非伝統作物の多様化と食糧の安定供給を最優先課題としている。同国の主要作物の自給率は低く、乾期における農業生産技術の確立、灌漑農業の普及が急務である。このためホンデュラスは、既存のCEDA内組織の充実を図り、灌漑排水全体に関する基準の策定を目的とした調査研究部門を新設し、わが国に対して灌漑排水にかかわる技術者養成のための技術協力を要請してきた。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>ホンデュラスの灌漑排水事業において、実態にあった計画・設計基準を策定できる技術者を養成することを目的とする。</p> <p><協力活動内容></p> <p>(1) 灌漑排水全般の基準にかかわる灌漑情報収集と整理 (2) 水文気象観測データの基準作成への利用 (3) 基準作成に必要な実験調査法の指導 (4) 必要に応じたモデル施設における実証</p>							

ホンデュラス©中南米

(5) セミナーなどによる普及と情報交換

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
テウバセンティ地域森林資源管理計画	ホンデュラスのエル・パライス県テウバセンティ地域約19万haを調査対象地域とし、土地利用植生を把握するとともに森林資源調査を行い、現存する森林の適正な保全と利用を計るための森林管理指針を策定する。また、モデル地区4万haを設定し、森林管理指針に基づき、森林管理計画を策定する。1994年度は、本格調査を開始して着手報告書をホンデュラス政府に提出した。	ホンデュラス 森林開発公社	(株)日本林業技術協会 (株)パスコ・インターナショナル
インティブカ県ヘス・デ・オトロ盆地灌漑農業開発計画	農業開発の潜在能力をもつヘス・デ・オトロ盆地に対して灌漑施設を整備し、農業生産性の向上と農民生活の向上などを図るためのフィージビリティ調査を実施する。1994年度は最終報告書を作成し、ホンデュラス政府に提出した。	天然資源省水資源局	国際航業(株) 内外エンジニアリング(株)

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助	天然資源省	(株)日本国際協力システム	94	5.00	94.9.22	(資)	94.9(実)
<p>ホンデュラスの推進する基礎作物の安定供給のための食糧増産援助計画を援助するため肥料・農機を供与する。</p>							

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期	各種チームの派遣		人数・経費実績				
	年度	形態	専門家派遣(人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)		
看護教育強化 (当初R/D協力期間) 90.9.1~95.8.31	89	事前調査 実施協議	93年度までの累計		20	11	270,340
	92		94年度	新規	5	3	51,496
	93	継続		6	0		
	<p><要請背景> ホンデュラスは、国民、とりわけ農村地域の住民に対する保健衛生サービスの充実および乳児死亡率の低下を図ることを基本的保健政策として掲げている。しかし、農村地域では保健サービスの担い手である看護婦(多くの地域では地域保健所で勤務する看護婦が)予防接種、栄養失調対策、母子保健な</p>						

どの幅広い公衆衛生活動を行っている)が絶対的に不足しており、また、その技術水準も低いことから、住民の保健ニーズに十分対応できていない。

このような背景から、ホンデュラスは、厚生省管轄の准看護婦養成校および国立自治大学看護学部(正看護婦教育)を対象にしてわが国に対してプロジェクト方式技術協力を要請してきた。

<目標と期待される成果>

看護教師の教育技術の向上

<協力活動内容>

- (1) 緊急に対応が必要な分野における看護教育の理論および方法の改善
- (2) 看護教育カリキュラムの改善
- (3) 農村および都市周辺部における実践教育技術の改善および強化
- (4) 看護教育技術の改善
- (5) 看護教育用のテキストの開発および改善

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
全国保健医療総合改善計画	ホンデュラスの保健医療サービスを総合的に改善するための戦略および優先地域または優先サブセクターに関する保健サービスマスタープランを策定する。1994年度は、着手報告書の説明・協議を行ったうえで既存資料の収集・分析、調査対象地域のゾーニング、各地域別データの収集・分析および評価を行い、健康改善における課題を抽出し、これらの調査結果を進捗報告書(1)に取りまとめた。	保健省	システム科学コンサルタンツ(株)

ジャマイカ◎中南米

ジャマイカ

		1994年度	1993年度までの累計
ODA実績	無償資金協力 (億円)	0.96	4.51
	技術協力 (億円)	2.62	14.93
	政府貸付金等 (億円)	-1.47	478.79
	技術協力経費 (億円)	2.85	14.93
JICA技術協力実績	研修員受入 (人)	15(新規) + 0(継続)	98
	専門家派遣 (人)	0(新規) + 0(継続)	12
	調査団派遣 (人)	5(新規) + 0(継続)	102
	協力隊派遣 (人)	16(新規) + 28(継続)	49
	単独機材供与 (100万円)	3.67	57
	開発調査 (件)	0	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

無償資金協力	0.96
技術協力	2.62
政府貸付金等	-1.47

わが国の対ジャマイカODA(1994年暮年支出純額ベース、暫定値、単位：億円) 政府貸付金等は供与額からその年の返済分を引いたもの)

● 保健医療分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
病院衛生管理用機材	一式	3,672	保健省ブラックリバー病院	小規模単独機材	協力隊

○ メキシコ

		1994年度	1993年度までの累計
O D A 実 績	無償資金協力 (億円)	2.65	44.08
	技術協力 (億円)	32.70	305.28
	政府貸付金等 (億円)	151.28	1,450.66
J I C A 技 術 協 力 実 績	技術協力経費 (億円)	30.43	305.28
	研修員受入 (人)	193(新規)+54(継続)	3,169
	専門家派遣 (人)	80(新規)+45(継続)	902
	調査団派遣 (人)	117(新規)+6(継続)	1,358
	協力隊派遣 (人)	4(新規)+1(継続)	7
	単独機材供与 (100万円)	182.43	541
	開発調査 (件)	5	24
プロジェクト方式技術協力 (件)	6	7	

— 無償資金協力 2.65 (1.4%)

技術協力 32.70 (17.5%)	政府貸付金等 151.28 (81.1%)
--------------------------	-----------------------------

わが国の対メキシコODA(1994年暦年支出純額ベース、暫定値、単位：億円)

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
港湾水利観測用機材	一式	2,921	通信運輸省メキシコ港湾庁	小規模単独機材	専門家派遣

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
地震防災 (当初R/D協力期間) 90.4.1~95.3.31	87	予備調査	93年度までの 累 計	82	16	222,936
	87	事前調査				
	88	長期調査(1次)				
	89	長期調査(2次)	94年度	新規	10	3
	89	実施協議				
	90	計画打合せ				
	91	巡回指導				
	92	計画打合せ				
93	巡回指導	継続	7	1	36,587	
<p><要請背景></p> <p>1985年9月のメキシコ大地震の際、わが国は財政、技術面で積極的に援助協力し、メキシコ政府より高い評価を受けた。こうした評価と地震防災の重要性の認識に立って、メキシコ政府は、高密度地震観測、地震防災および耐震工学などを中心とする防災センター設立を計画し、わが国に対して、施設の建設を含む技術協力を要請してきたものである。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>国立防災センター(CENAPRED)において地震防災技術の研究・研修・普及事業活動が向上し、その結果が行政に反映される。</p> <p><協力活動内容></p> <p>(1) 地震防災技術に関する共同研究の実施 (強震観測分野・耐震構造分野・基礎土質分野)</p> <p>(2) (1)の研究成果を生かした研修事業の開発・実施</p> <p>(3) 地震防災技術に関する普及事業の実施</p>						
教育テレビ研修センター (当初R/D協力期間) 91.4.1~96.3.31	88	事前調査	93年度までの 累 計	32	12	635,534
	90	長期調査				
	90	実施協議				
	92	巡回指導	94年度	新規	8	4
	93	巡回指導				
<p><要請背景></p> <p>メキシコでは、学校教育をはじめ幼児教育・成人教育に至るまでテレビ放送を活用することが重要視されているが、番組制作技術がまだ初歩的なために、教育効果を十分に発揮できない状況にある。このため、メキシコ政府は教育番組を中心に行っている文部省教育番組制作部門(UTE)に対する技術協力をわが国に要請してきた。なお、本件は1989年1月16日、教育省で開催された国家教育近代化諮問委員会設置会議の席上カルロス・サラナス大統領によって提唱された、「国家教育通信システム(EDUVISION)」計画の一環として位置づけられるものである。</p> <p><目標と期待される成果></p> <p>教育テレビ研修センター(CETE)のカウンターパートが独自に番組制作技術研修コースを企画実施する能力を身につけ、教育番組制作に携わる番組制作者および技術者を養成する。</p> <p><協力活動内容></p> <p>UTEおよび、メキシコ全国の番組制作機関の番組制作に携わる技術および制作スタッフに対し、番組制作技術、TVカメラ技術10コースについて訓練を行い、日本側はセンター教官への技術指導を行う。</p>						

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
メキシコ連邦区下水処理計画	首都のメキシコ連邦区を対象に、メキシコ側が策定した(1993年12月完了)下水処理システムに関するマスタープランに基づき、テスココ・グラン・カナル地区に新設される下水処理場についてフィージビリティ調査を実施するものである。1994年度は、93年度に取りまとめた最終報告書案を提出のうえ、説明・協議を行い、これに対するコメントを受けて最終報告書を作成し、提出した。	メキシコ連邦区庁	(株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
農業機械性能試験用機材	一式	76,220	農業・水資源省国立農林業研究所コタストゥラ農業技術センター	一般単独機材	研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態	専 門 家 派 遣 (人)		カウ ン ター パ ー ト 受 入 (人)	機材供与(千円)	
沙漠地域農業開発計画 (当初R/D協力期間) 90.3.1~95.2.28	88	事前調査	93年度までの 累 計		39	13	216,299
	89	実施協議					
	89	実施設計	94年度	新規	5	4	39,124
	90	計画打合せ					
	92	巡回指導		継続	6	0	
	93	巡回指導					
94	エバリュエーション						

〈要請背景〉

メキシコ政府は大都市の人口過密化を回避するため、地域開発の核となる産業の振興と地域格差の是正を図る地方分散化政策を進めている。一方、メキシコ経済開発の基盤をなしている鉱工業の多くは乾燥(沙漠)地域に散在し、これら労働者の活性化および同地域住民の福祉の向上は鉱工業振興のみならず地方分散化政策推進の重要な課題である。

このため、メキシコ政府は、鳥取大学による1982年からの南バハ・カリフォルニア州ゲレロ・ネグロにおける野菜生産の学術調査・研究の成果を踏まえ、88年4月、メキシコ乾燥(沙漠)地域に散在している鉱工業労働者および同地域住民の福祉向上のため、生鮮野菜・果物などの自給生産技術の普及を目的とした研修センター設立に関する技術協力をわが国に要請してきた。

〈目標と期待される成果〉

メキシコの沙漠地域の鉱工業都市住民に生鮮野菜・果物などを供給し、同地域の発展および活性化に寄与することを目標に、ゲレロ・ネグロにおいて野菜などの農業生産物の適正生産技術を確立し、農業技術者研修に必要な教材とカリキュラムを作成することを目的とする。

〈協力活動内容〉

- (1) 環境部門研究：地域・地質と気候、砂地の農地利用と保全技術
- (2) 灌漑部門研究：灌漑技術、節水栽培の水管理技術、塩類土壌改良

- (3) 栽培部門研究：作物の環境耐性、栽培管理と作付体系
- (4) 訓練用カリキュラム：教材の作成

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ハリスコ州沿岸地域農牧業農村総合開発計画	農業に関連するインフラ、水資源、土地、人的資源を有効利用し、メキシコの農業の活性化を図るため、農業開発の潜在能力が高い同国ハリスコ州西部の太平洋沿岸地域(約1万2000km ²)を対象として、地域農牧業総合開発計画に関するマスタープラン調査を実施する。1994年度は、事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに本格調査を開始し、進捗報告書(1)をメキシコ政府に提出した。	農業・水資源省	農用地整備公団

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
シウダー・テル・カルメン漁業調査研究センター整備計画	国立水産研究所		92	5.40			95.4 (F/U)
(1) 本体：シウダー・テル・カルメン漁業調査研究センターの漁業調査訓練船と食品加工機器の修復、整備 (2) フォローアップ協力：供与機材の現況およびフォローアップ必要性の検討のための調査実施							

メキシコ 中南米

● 鉱工業分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
微量成分分析用機材	一式	16,830	サンルイスポトン自治大学 工学部冶金学科	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年 度	形 態			専 門 家 派 遣 (人)	カウ ン ター パ ー ト 受 入 (人)	機 材 供 与 (千 円)
選鉱場操業管理技術 (当初R/口協力期間) 92.8.17~96.8.16	91	事前調査	93年度までの 累 計		17	8	324,572
	91	長期調査					
	92	長期調査	94年度	新規	7	4	50,445
	92	実施協議					
	93	計画打合せ		継続	5	0	
	94	巡回指導					

<要請背景>
 メキシコは、鉱業を経済発展の重要な要素のひとつとしているが、鉱山運営の非近代性が重大な問題となっていたため、それを打開すべく、1988年2月、日本政府に対し、「鉱業振興局(CFM)選鉱場近代化のための開発調査」を要請し、JICAにより同調査が実施された(89年8月~90年2月)。そして同調査の結果、CFMがただちにとるべき方策として①選鉱場における実収率の改善、②操業コストの削減、③装置稼働率の向上、④プラント管理部門の合理化などが提言された。
 同提言を受け、CFMは17の選鉱場のひとつであるチワワ州・パラル選鉱場に対する近代化を目的として、プロジェクト方式技術協力の要請を日本政府に対して行った。

<目標と期待される成果>
 選鉱設備の計装化、自動化などによって無公害の近代化された実操業規模のモデル選鉱場を設立し、選鉱操業・管理技術者を養成することを目的とする。

<協力活動内容>
 CFM所管選鉱場のひとつであるチワワ州・パラル選鉱場近代化計画の実施に際して必要とされる無公害選鉱場の操業管理技術に関し、特に下記分野の技術移転を図る。

- (1) 選鉱操業技術
- (2) コンピューターによる管理技術
- (3) 計装技術

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
大気汚染対策燃焼技術導入計画	本調査は、メキシコ首都圏の大気汚染を改善するため、固定発生源である工場のNO _x の排出を削減するための適正燃焼方法と燃焼管理に関する提言を取りまとめ、また燃焼試験プラントを使用した燃焼技術の移転を行う。1994年度は、93年度に引き続き本格調査を実施し、中間報告書の作成まで実施した。	環境庁 メキシコ連邦 区庁 メキシコ石油 公社 メキシコ石油 研究所	(株)パシフィック・コンサル タンツ・インターナショナル (株)日本環境アセスメントセンター
テフピルコ地域フォローアップ	1994年度は、3年間の調査結果の説明を行い、メキシコ側のフォローアップ状況、探査方針を聴取した。	エネルギー・鉱山国営企業省 鉱物資源局	金属鉱業事業団

カンボセコ地域資源開発計画	衛星画像解析、地質調査、地化学探査、物理探査およびボーリング調査を実施し、塊状硫化物鉱床の賦存状況を把握する。1994年度は、衛星画像解析、地質調査、物理探査を実施し、鉱床胚胎層準を把握するとともに、その深部に鉱化変質帯と予想される低比抵抗帯を把握した。	エネルギー鉱山国営企業省 鉱物資源局	金属鉱業事業団
---------------	---	-----------------------	---------

● エネルギー分野 ●

.....
機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
低硫黄燃料評価試験用機材	一式	22,875	メキシコ石油研究所	一般単独機材	専門家派遣

.....
● 人的資源分野 ●

.....
機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
鋳鍛造職業訓練用機材	一式	63,582	教育省日墨技術教育センター	一般単独機材	研修員受入

.....
プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)
メキシコ職業技術教育活性化センター (当初P/O協力期間) 94.9.1~99.8.31	92	基礎調査	93年度までの 累 計	0	0	0
	93	事前調査		94年度	新規 7	
	93	長期調査	継続 0			0
	94	実施協議				

<要請背景>

- (1) メキシコの経済は1970年代に着手された巨大な石油資源の開発と、これをテコに行われた積極的な工業化政策により高度成長を遂げた。80年代に入ると原油価格の低迷や85年に発生したメキシコ大地震の影響などで財政赤字は拡大した。そのうえインフレの高進、通貨ペソの下落などもあり対外債務の返済は困難になり、経済は低成長に落ち込んだ。
- (2) 88年に就任したサリナス大統領は経済の自由化、安定化をめざして外資導入の推進による国際収支の改善、公営企業の民営化、企業の育成と競争力の強化などの施策を打ち出した。この結果、インフレが沈静化に向かうとともに、外資導入や逃避資本の還流が起り、メキシコ経済は順調に回復しつつある。また、メキシコ、米国、カナダが加盟するNAFTA(北米自由貿易協定)が94年1月に発効したことにより、これらの施策はいっそう重要な意味をもつことになる。
- (3) 上記の状況に鑑み、メキシコ文部省工業技術教育局(DGETI)は同国の工業技術教育の現状に強い危機意識を抱き、産業界の技術革新に対応した高校レベル(工業高校および職業訓練校)の技術教育の向上と近代化に着手している。このような状況下で、先端技術分野の中堅技術者の教育、訓練指

導者の養成に関してメキシコ自身の努力ではその実現が困難である分野に対して、わが国にプロジェクト方式の技術協力を要請した。

〈目標と期待される成果〉

(1) プロジェクトの目標

①上位目標

工業技術教育局傘下の技術教育機関および訓練機関においてメカトロニクス分野の中堅技術者が育成される。

② プロジェクト目標

産業界のメカトロニクス化に対応できる人材を教育する技術教育施設および訓練施設の指導員をセンター独自で再教育できる。

(2) プロジェクトの成果

①訓練実施のための資機材、設備が確保される。

②カウンターパートがメカトロニクス分野における指導員訓練ができる能力を習得する。

③メカトロニクス分野における訓練コースが実施される。

〈協力活動内容〉

(1) カリキュラム開発方法を指導する。

(2) 専門技術(機械系、制御系)を指導する。

(3) 機材の操作、保守管理方法を指導する。

(4) 教材開発方法を指導する。

(5) 指導技法を指導する。

(6) 授業準備方法を指導する。

(7) クラス運営方法を指導する。

(8) 訓練評価方法を指導する。

● 保健医療分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパ ート受入(人)	機材供与(千円)
家族計画/母子保健 (当初R/口協力期間) 92.4.1~97.3.31	89	基礎調査	93年度までの 累 計	14	8	114,459
	91	事前調査				
	91	実施協議	94年度	新規	10	5
	92	計画打合せ				
	93	運営管理・実 施設計				

〈要請背景〉

メキシコは、全国平均で人口増加率が2.3%(1987年)、乳幼児死亡率が43(1000人当たり、93年)とともにも高く、特に農村部では都市部に比べて家族計画・母子保健レベルがいまだに低い状況にある。さらに、近年農村人口の主要都市への移動により、主要都市の人口は飽和状態にあることから失業問題が起き、都市部に入り込めない人口が主要都市周辺部に巨大なスラム街を形成しつつあり、特にこの地域では家族計画・母子保健レベルが低く問題が深刻化している。

メキシコ政府は人口の数量的問題および国内の人口移動を是正調整することを一大目標とした「一般人口法」(74年)を制定した。また、「国家開発計画」(89年~94年)のなかでの家族計画の位置づけは非常に高く、具体的重点項目として、①家族計画サービスの拡大(地方、スラム地区)、②家族計画教育の充実、③家族計画分野のIEC(情報教育活動)の開発があげられている。